

改善箇所説明図



不具合の内容

ディーゼルエンジンの排気ガス再循環装置 (EGR) モジュールにおいて、経年変化により冷却水が漏れるものがある。その場合、排気ガスに含まれる煤が冷却水と混合して排気ガス再循環装置 (EGR) モジュールの内部に堆積し、高温になった堆積物がインテークマニホールドに流入し付着して、インテークマニホールドが溶損する可能性がある。最悪の場合、火災に至るおそれがある。

改善の内容

全車両、エンジンコントロールユニット (DDE) のプログラムを対策プログラムに書き換え、冷却水の漏れやエンジン過熱を早期に感知させ、警告灯を点灯させる。さらに、インテークマニホールドの溶損が拡大する前に保護機能を作動させるとともに、エンジン警告灯を点灯させ、出力を制限させる。

なお、過去に冷却水補充の履歴が確認できた場合は、排気ガス再循環装置 (EGR) モジュールの点検を行ない、必要に応じて対策品と交換する。

識別：左フロントドアアアヒンジ取り付けボルト(下側)の頭に白ペンを塗布する。

注) は、ソフトウェアの書き換えを行う部位を示す。